

活動報告

部会名：子ども部会	
部会員 構成団体等	<p>部会代表者（団体）：鬼頭 大助（児童支援連絡会代表）</p> <p>構成員：市教育指導課、保健センター、市子ども子育て課、子ども子育て総合センター「あいつく」、市地域教育推進課、市障がい福祉課、富田林保健所、富田林支援学校、藤井寺支援学校、富田林子ども家庭センター、児童支援連絡会（代表・役員）、委託相談支援事業所（2ヶ所）、当事者団体（4団体）、千代田台こども園、訪問看護ステーションかなえるはーと、しょうとく園、民生委員児童委員協議会、学識経験者、医療的ケア児等コーディネーター（2名）</p>
開催日程	<p>《子ども部会》</p> <p>6月10日（オンライン）、2月4日（オンライン）</p> <p>《医療的ケアワーキング》</p> <p>7月8日、9月8日（オンライン）、11月29日、1月31日（オンライン）</p> <p>《地域課題連携ワーキング》</p> <p>7月8日、10月5日、1月14日</p>
<p>●令和3年度 事業報告</p> <p>より良い支援を行うための顔の見える関係づくり、社会資源の情報共有と発信の取り組み、障がい児のニーズ把握と支援策の検討、を目的に以下の内容を実施した。</p> <p>○「支援の必要な子どもの関係機関について」</p> <p>情報を更新し、ピアセンター河内長野ホームページ内の河内長野市障がい者地域自立支援協議会子ども部会のページに掲載した。</p> <p>《医療的ケアワーキング》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河内長野市の医療的ケア児の現状把握をおこなった。（人数・医療的ケアの内容） ・河内長野市の医療的ケア児が利用できる資源の確認・整理をおこなった。 ・ワーキングメンバーに加え、医療的ケア児に関わる関係機関（9事業所）の参加を呼びかけ、支援に関する課題や災害時・コロナ禍に対する課題等について意見交換をおこなった。 ・7名の保護者を対象に「医療的ケア児と保護者の生活・就労状況を把握するための実態調査」をおこなった。 <p>《地域課題連携ワーキング》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世帯に課題があるケース～本人（世帯）を地域で支えていく方法～」をテーマに、連携についての事例検討をおこなった。 ・「支援の継続が難しい方へのアプローチ」をテーマに、連携方法やあったらいいなと思うフォーマル・インフォーマル資源のアイデアだしをおこなった。 ・事例検討で挙げた資源の整理・確認、連携に関する標語（みんなが共通認識として持てるよう 	

⑦ 令和3年度 子ども部会 活動報告

に)の検討をおこなった。

○河内長野市児童支援連絡会(河内長野市内の放課後等デイサービス・保育所等訪問支援・児童発達支援・障がい児計画相談支援の連絡会)

子ども部会に紐づく組織とし、会則を作成し、「行事委員会」「研修・人財育成委員会」「福祉サービス委員会」の3つの委員会にわかれて活動をおこない、ネットワーク強化、支援の底上げ、地域課題の抽出や検討などが活発にできるような体制で取り組んだ。

*行事委員会

・1月18日にイズミヤゆいテラスにて合同説明会(制度説明や事業所紹介)を開催した。また、事業所のPR動画も作成し、YouTubeにて一般視聴できるよう配信をおこなった。

・民生委員児童委員協議会との交流会を実施した。(長野地区:10月21日、加賀田地区:2月21日→コロナのため中止)

*研修・人財育成委員会

・10月4日に虐待研修「次年度に向けた虐待防止の更なる推進について」(講師:顧問宮崎氏)を企画・実施した。

・2月28日に児童虐待の研修(講師:子ども子育て課 真鍋氏)を企画・実施した。

*福祉サービス委員会

・福祉サービスについての疑問や質問を連絡会内にてアンケート実施し、障がい福祉課協力のもと、回答書を作成した。

◆令和4年度活動及び検討事項

・部会を2回(5月と2月)実施、ワーキングについては令和3年度に引き続き「医療的ケアワーキング」と「地域課題連携ワーキング」にわかれて随時開催し、協議をすすめていく予定。

○「支援の必要な子どもの関係機関について」

情報を更新して、ホームページに掲載する予定。

○医療的ケアワーキング(予定)

・保護者への実態調査や関係機関との意見交換からあがった課題に関して、課題認定をおこない、支援体制の検討をすすめていく。

○地域課題・連携ワーキング(予定)

・事例検討であがった資源や連携について、引き続き整理をし、課題や理想をあげていく。標語の活用や啓発方法などについて検討していく。